

ゆのはな

すべての人が地域でしあわせに生活できる社会の実現
～Be true to Rehabilitation～

平成
28年度

「入院生活に関するアンケート調査」

～ 結果のご報告 ～

当センターでは入院された患者さん・ご家族にご協力いただき、「入院生活に関するアンケート調査」を年に2回実施しております。今年度、第1回目の調査を6月に行いました。その結果から主なものを図にまとめ、前年度の結果と比較してご報告いたします。

入院生活についての満足度 「病室・トイレ・浴室の清潔さ」に関して「大いに満足」の割合が低く、「館内の掲示や案内表示・病棟や病室の静けさ」が昨年度と比べて「大いに満足」の割合が高い結果となりました。

スタッフのマナー対応の満足度 昨年に比べて「大いに満足」の割合が「看護師・介護福祉士の対応や相談のしやすさ」、「療法士の対応や治療・訓練内容」で高くなっているのに対して、「医師の対応（説明、相談、診察・治療内容）」や「看護の方法」、「総合満足度」において低下していました。「不満」と感じられている項目は、「説明が少ない」・「話す機会がない」・「対応（ナースコール対応も含む）」でした。

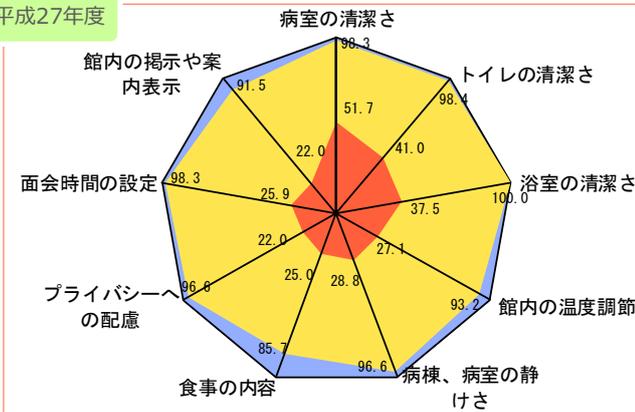
皆様からお寄せいただいた貴重なご意見等につきましては、今回の調査結果を踏まえてセンター内で共有し、活用させていただきます。今後も、患者さん・ご家族との関わりや思いやりの心を大切にしながら、職員全員でサービスの向上・改善に取り組んでまいります。今回調査へご協力いただいた皆様、誠にありがとうございました。

回復期リハビリテーション部 接遇アンケート係

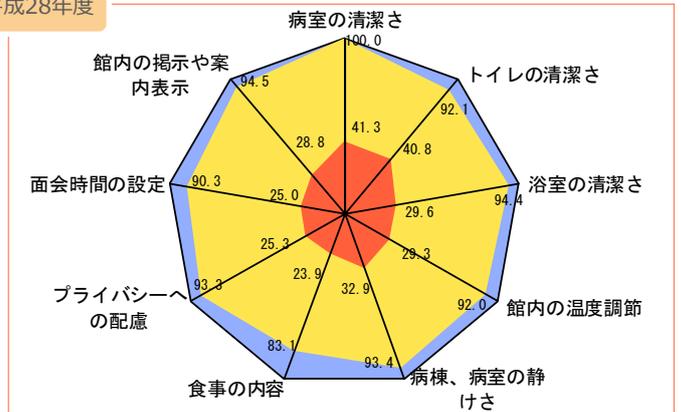
入院生活についての満足度

■ 大いに満足 ■ 満足 ■ 不満

平成27年度



平成28年度

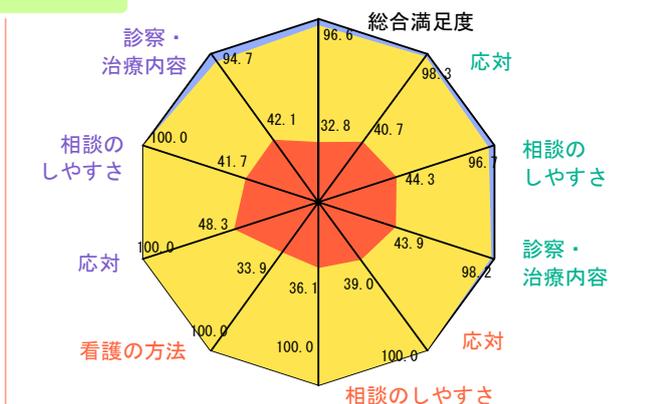


スタッフ・マナー対応についての満足度

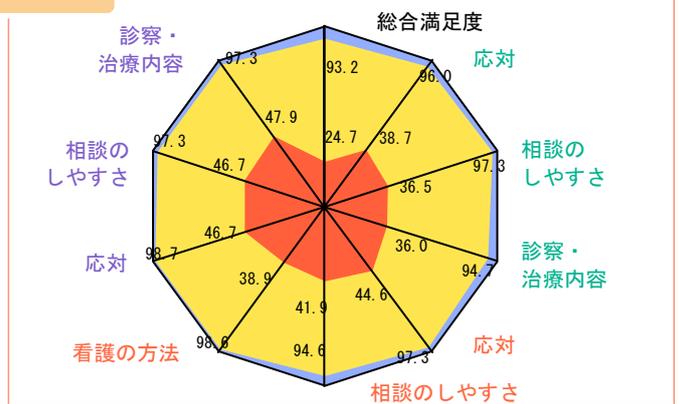
■ 大いに満足 ■ 満足 ■ 不満

※ 医師 看護師・介護福祉士 療法士

平成27年度



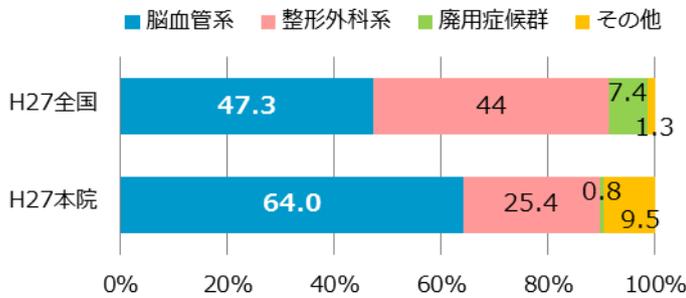
平成28年度



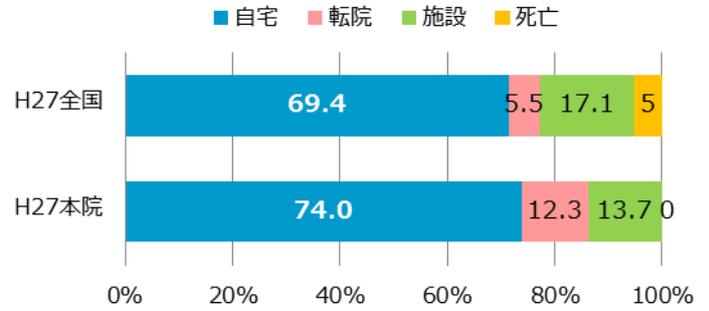
回復期リハビリテーション病棟に関する実績と全国比較

*実績：平成27年度実績

原因疾患割合

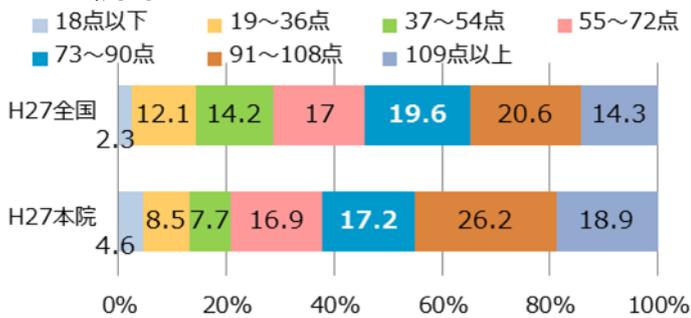


退院経路

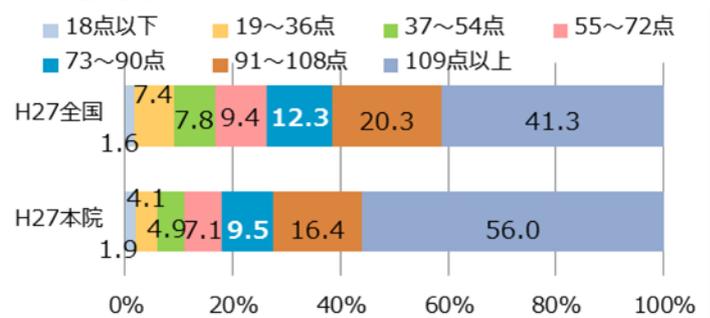


F I M (機能的自立度評価)

入院時



退院時



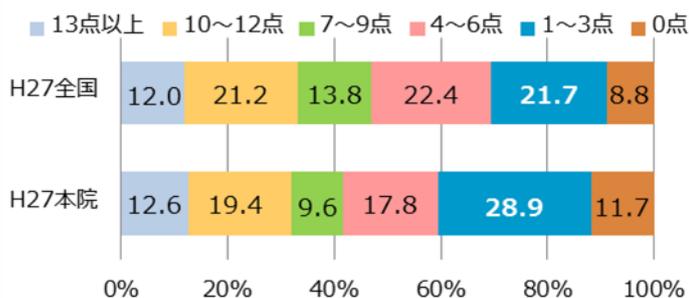
機能的自立度評価 (F I M ; Functional Independence Measure) とは

この評価は、主に介護量を測定するもので食事や整容などの「運動ADL」13項目と、社会的交流や記憶などの「認知ADL」5項目を、介護量に応じて7段階、126点満点で評価します。米国での研究において信頼性と妥当性が検証されており、我が国でも医療や介護の分野などで幅広く活用されています。

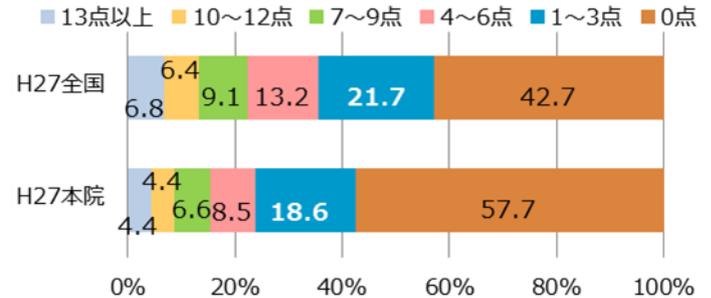
*ADL (日常生活動作 : activities of daily living) / 食事・更衣・移動・排泄・整容・入浴など生活を営む上で不可欠な基本的行動のこと。

日常生活機能評価

入院時



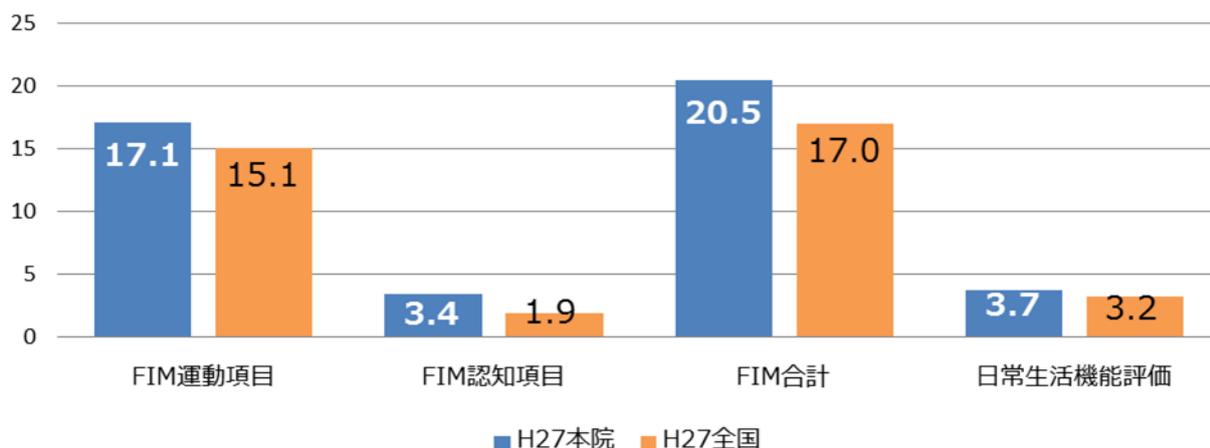
退院時



日常生活機能評価とは

この評価方法は、入院患者の日常生活自立度を測定するもので、起き上がりや移乗・食事摂取などの13項目を「できる」・「できない」・「一部介助があればできる」などの状況で評価し点数をつけます。合計点数の最大値は19点で、点数が低いほうが「自立度が高い」と評価されます。

ADL（日常生活動作）利得の平均値



まとめ

- ◆ 平成27年度は、FIMや日常生活機能評価のいずれも全国平均より高くなりました。
- ◆ 専門職によるチームで、目標達成に向け取り組んだ結果と思われます。
- ◆ 今後も質の高いリハビリテーションが提供できるよう、取り組みを強化して参ります。

入院患者分布内訳 (H27.4.1~H28.3.31)

県別		市町村別			
項目	人数	項目	人数	項目	人数
大分県	507	別府市	214	津久見市	4
福岡県	12	大分市	76	豊後高田市	9
宮崎県	2	中津市	55	玖珠郡	2
長崎県	1	杵築市	39	由布市	7
兵庫県	1	宇佐市	25	豊後大野市	5
静岡県	1	速見郡	19	竹田市	6
愛媛県	1	国東市	25	日田市	3
大阪府	1	佐伯市	8	東国東郡	3
合計	526	臼杵市	7		
		合計		合計	507

11/20

みょうばんクリニックふれあい祭り

きて！
みて！
あてよう！

開催日：平成28年11月20日（日）

時間：10:00～14:00

会場：みょうばんクリニック

今年度も「みょうばんクリニックふれあい祭り」を開催します。地域の皆様との交流を目的として、会場では模擬店やアトラクション、ガラポン抽選会等たのしいイベントを多数ご用意しています。

ご家族そろって、お気軽にご来場下さい。



※ 当日、当センター駐車場⇄「みょうばんクリニック」間でシャトルバスを運行します。ぜひご利用ください。

新着任医師のご紹介

社会福祉法人 農協共済 別府リハビリテーションセンター うちだ ひとし
副センター長 **内田 仁**



平成28年8月より別府リハビリテーションセンターの副センター長に就任しました内田仁です。整形外科疾患の患者様を担当します。

別府市出身の58歳です。大分県立鶴見ヶ丘高校から昭和大学医学部に進学し、卒業後は大分医科大学の整形外科教室に入局、研修医を終え大学院で病理学の学位を取得した後、国立大分病院、大分県立三重病院に一般整形外科医として勤務しました。平成10年に熊本整形外科にて栄輝巳先生より脊椎外科の指導を受け、頸椎椎間板ヘルニア、腰椎椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症、頸髄損傷、脊髄損傷など2000例以上の脊椎疾患の手術を経験しました。

当センターは約2割が整形外科疾患の患者様となっています。当センターでは医師、看護師、理学療法士、作業療法士、ソーシャルワーカー、管理栄養士等でリハビリチームを組んで治療にあたります。患者様が入院されますと、まず身体機能や脳機能等の状態を評価し、リハビリカンファレンスでの目標設定を踏まえて治療プログラムを作成します。そして訓練・治療を行いながら定期的に再評価し、治療内容を修正しつつ退院後の生活設定を行っています。

赴任後、当センターの医療の質の高さや訓練量の多さなど、手厚いリハビリに対する取り組みに驚きました。これから皆様のお役に立てるように頑張っていきたいと思えます。

病棟
レク

お月見会

旧暦8月15日の月を「十五夜」、「中秋の名月」といいます。9月16日の夕方、病棟イベントとして、お月見会を開催。各病棟ごとに、それぞれレクリエーションや歌を企画しました。

A病棟

A病棟では、当日お誕生日の患者様にお誕生日カード（病棟では誕生日の日に患者様に写真とメッセージカードを作成しています）をお渡しした後、お月見会開始となりました。

「月がとっても青いから」「月」の合唱後、ゲーム「月見でポン！」を行いました。白熱した戦いが繰り広げられ、会場は声援と笑いで包まれました。



B病棟

今年はいにくの天気で満月を見ることが難しかったのですが、会場の熱い思いが届いて（職員が扮した）かわいいお月様が窓の外に登場し、皆さんで楽しむことができました。

「ふるさと」「炭坑節」の合唱後、詩吟を特技とされている患者様が独吟を披露して下さいました。ビンゴゲームではチームに分かれて対決しました。



編集 後記

当センターB棟南側の窓から外をみますと、別府市の公園があります。その名も「鉄輪地獄地帯公園」。「地獄の公園で遊ぼうや」と言うとびっくりされるのですが、遊具がたくさんあるので子ども達は喜んで遊びにやってきます。公園の片隅にハゼの木があって、毎年秋になると燃えるような朱色に色付き、大変美しく盛りを迎えます。今年はとても暑い夏となりましたが、秋の涼しいひとときをのんびり公園で過ごすのも、すてきな贅沢ですね。

各施設のご案内

- ◇ 病 院
- ◇ 障害者支援施設 < にじ >
- ◇ 相談支援事業
- ◇ 障害福祉サービス事業所 < みのり >
- ◇ 通所リハビリテーション事業所 < ふれあい >
- ◇ みょうばんクリニック
- ◇ 通所リハビリテーション事業所 < みょうばん >
- ◇ 通所リハビリテーション事業所 < あおぞら >

発行： 社会福祉法人 農協共済 別府リハビリテーションセンター

日本医療機能評価機構認定 / 日本脳卒中学会認定研修教育病院 / 日本リハビリテーション医学会認定研修施設



〒874-8611 大分県別府市鶴見1026-10

TEL0977-67-1711 FAX0977-67-1712 <http://www.brc.or.jp>